

活用方策について

第4回懇談会における意見を踏まえ、活用方策を絞り込み、第1回懇談会で提示した「基本的な考え方(案)」に示した3つの視点から意見を整理した。

なお、第4回懇談会で示した「地域の大学が連携し、広島ならではの平和に関する教育・研究を行う場」及び「多様な主体が、平和について考え、交流、活動し、その成果を発信する市民活動拠点」については、いずれも「平和」というテーマでの活用であり、類似した内容であるため、1つの案として集約した。

その上で、被爆の実相を後世に伝えることができる「幅広い世代に門戸を開いた広島ならではの平和に関する教育・研究や交流・活動を行う場」として活用することを基本とし、複合的に「幅広い世代の人々が集い、多目的に利用できるコミュニティスペース」として活用することとする。

活用方策に係る意見の要旨	検討の視点及び評価(案)			(参考) 類似用途の施設規模等	
	① 新たな時代に向けて知の継承を図る	② 被爆の実相を後世に伝えることができる	③ 跡地全体が「知の拠点」としての機能が高まる	大規模なもの	小規模なもの
幅広い世代に門戸を開いた広島ならではの平和に関する教育・研究や交流・活動を行う場 〔「地域の大学が連携し、広島ならではの平和に関する教育・研究を行う場」及び「多様な主体が、平和について考え、交流、活動し、その成果を発信する市民活動拠点」を集約したもの。〕	◎ 幅広い世代に対して、教育・研究を行うとともに、交流・活動を行うことで、知の継承を図ることができる。	◎ 平和や被爆に関する教育・研究や交流・活動を行うことができる。	◎ 「知の拠点」としての機能が高まるような、周辺施設との連携が期待できる。	広島大学東千田未来創生センター 〔・延床面積：5,150 m ² (地上4階) ・部屋：講義室10室(大講義室の最大利用人数 345人)、ミーティングルーム9室、プロジェクトルーム9室、ラーニングコモンズ、ラウンジ等〕	サテライトキャンパスひろしま 〔・延床面積：998 m ² (広島県民文化センター内5階:638 m ² 、6階:360 m ² ※共用部の面積を含まず) ・部屋：講義室7室 (大講義室の最大利用人数 200人)、交流室2室、会議室1室、交流・情報発信スペース等〕
幅広い世代の人々が集い、多目的に利用できるコミュニティスペース (市民や学生の芸術作品発表や学習交流の場等)	◎ 幅広い世代の人々に交流・発表の機会を提供し、知の継承を図ることができる。	△ 多目的利用の一つとして、平和や被爆に関する活動に利用できる。	○ 跡地に新たな機能が追加され、幅広い世代の人々が集う拠点となることが期待できる。	まちづくり市民交流プラザ 〔・延床面積：5,845 m ² (南棟1～4階、北棟4～6階) ・部屋：研修室3室、会議室3室、ギャラリー2室、マルチメディアスタジオ、フリースペース、ラウンジ等〕	竹屋公民館 〔・延床面積：1,270 m ² (市営宝町住宅等との複合施設、1階の一部及び2階部分) ・部屋：ホール(利用人数 340人)、会議室、研修室等〕 千田学区集会所 〔・延床面積：265 m ² (地上2階、地下1階) ・部屋：集会室、会議室、和室〕

※旧理学部1号館の敷地（面積約6,300 m²）の用途地域は第二種住居地域（容積率200%）であることから、延床面積の上限は約12,600 m²となる。